

近畿地方整備局
資料配布

配 布 日 時	平成16年6月21日(月) 14時00分
------------	-------------------------

件名	大滝ダム白屋地区地すべり対策工事の概略設計技術提案に関し、設計業務を行う提案を特定しました。
----	--

概要	大滝ダム白屋地区地すべり対策工事の概略設計に際し、コスト縮減、工期短縮を目的として、幅広く技術提案を公募し、このたび概略設計業務を行う提案を特定したのでお知らせします。
----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 五條市政記者クラブ
------	------------------------------------

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 白屋地区地すべり対策室長 三上 章 電話 : 07472-5-3013 国土交通省近畿地方整備局河川部 河川工事課長補佐 西嶋 孝治 電話 : 06-6942-1141 (内線3713) 06-6942-0526
------	---

大滝ダム白屋地区地すべり対策工事の概略設計に際し、幅広く技術提案を公募していましたが、このたび設計業務を行う提案を特定しました。

白屋地区（奈良県川上村）においては、平成15年3月から実施した大滝ダムの試験湛水中に地すべりが発生したため、「大滝ダム白屋地区亀裂現象対策検討委員会」を設置し、地すべり機構の解明と対策工の検討を行い、平成15年12月には対策工の基本検討の結果が示されたところです。

委員会で示された基本検討によると、対策工は大規模かつ長期にわたる工事となることが予想され、コストの縮減、工期の短縮が重要な課題となっています。

そこで、これらの課題に対する取組みとして、発注者側からコスト縮減、工期短縮の概ねの目標（3割程度減）を示したうえで、技術提案を幅広く公募し、安全性・実現性等を考慮のうえ優位な対策工法を選定し、複数あった場合にはそれについて概略設計を行うこととしました。

この技術提案書提出の招請を、3月10日から行い、4月19日に締め切ったところ、25社から提案があり、その後各社のヒアリング等を実施してきました。

ヒアリング結果を踏まえ、学識経験者による委員会（土木学会関西支部）の意見を参考にしながら、内部で慎重に検討を行い、その結果、提案内容が優れている以下の提案を特定しました。

特定された提案の内容は、工費・工期とも目標を概ね達成していました。

#### 特定された技術提案の概要

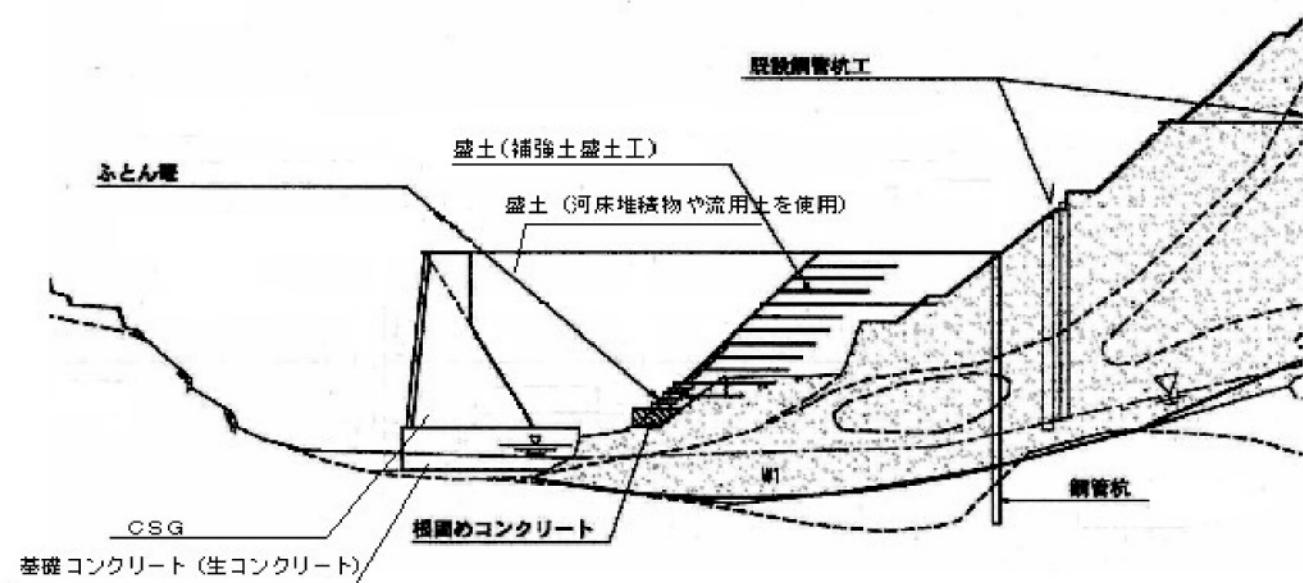
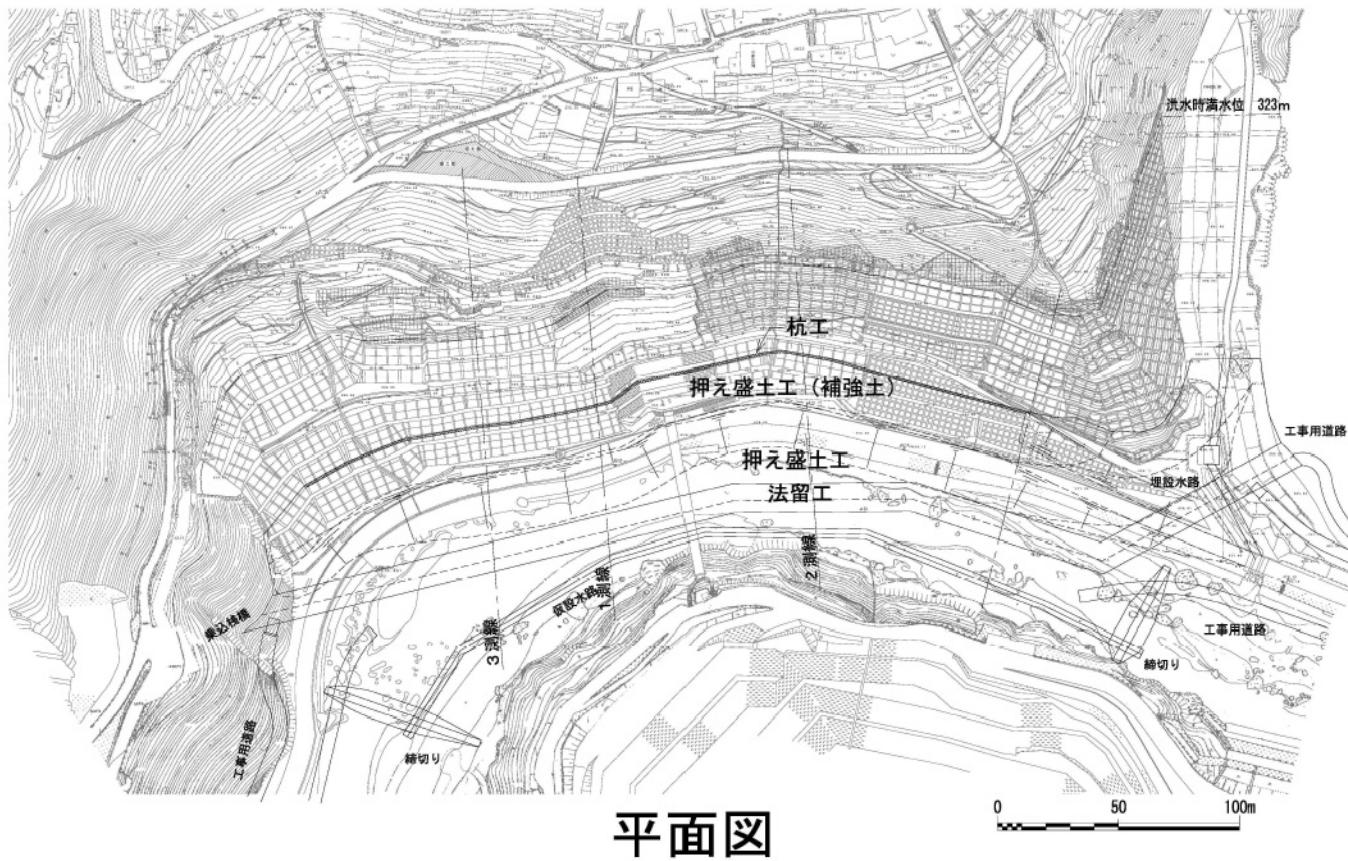
番号	業者名	工法名	特徴
1	（株）建設技術研究所	押え盛土 + 鋼管杭工法	押え盛土工を基本に、鋼管杭を工夫（杭の抵抗力を増大）し、押え盛土量を減じ、コスト・工期を低減。
2	（株）建設企画コンサルタント	押え盛土 + 排土工法	地すべり地区の頭部を排土し、すべり力を減じるとともに、押さえ盛土に流用しコスト・工期を低減。
3	アイドールエンジニアリング（株）	C S G 押え盛土工法	盛土材量を改良し、抵抗力を強めて、全体の押え盛土量を減じ、コスト・工期を低減。

それぞれの提案概要は、別添図参照

なお、上記提案についても、今後解決すべき課題を有しており、それらについては業務実施段階で検討し、必要に応じ改良することとしています。

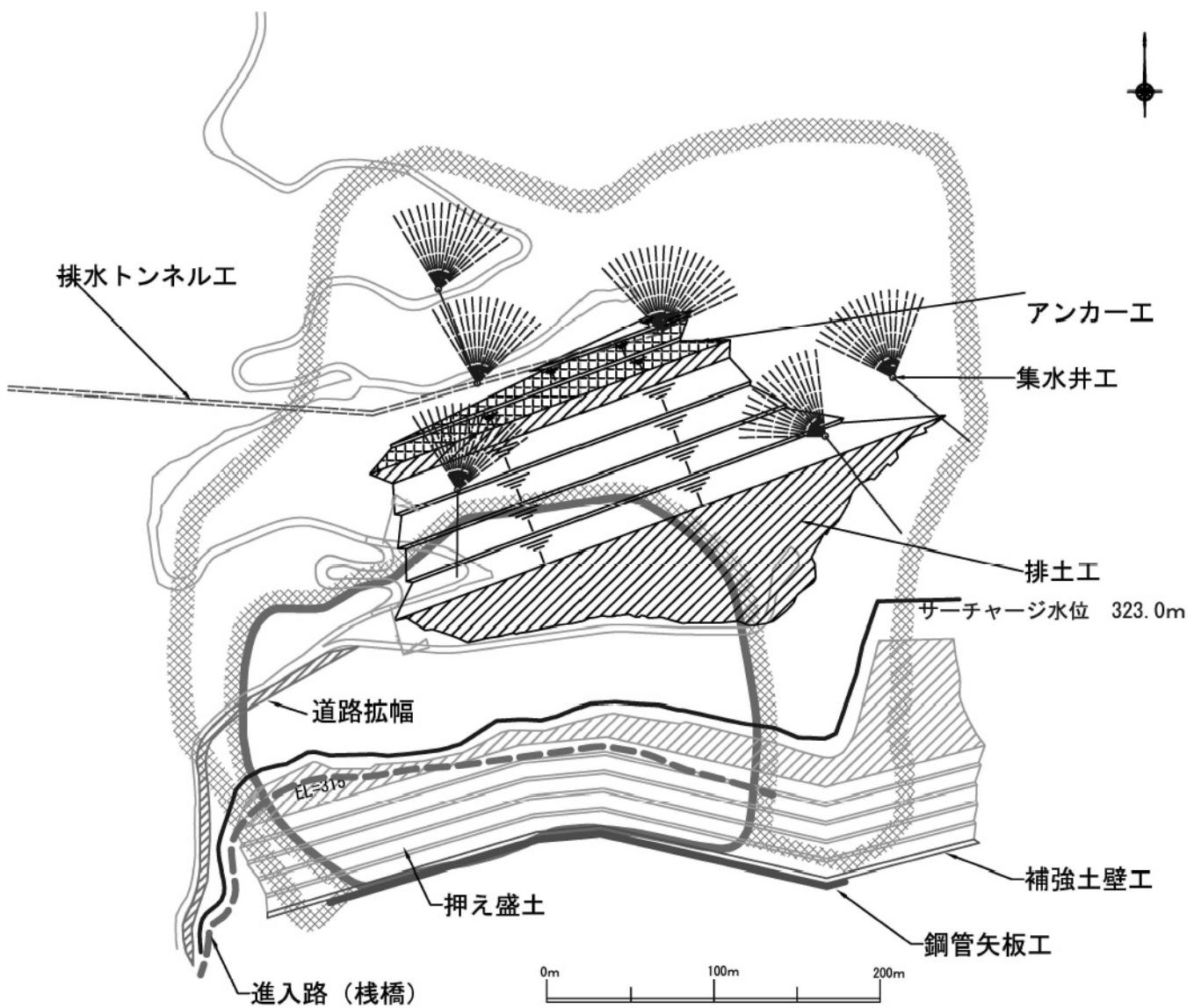
今後の予定 6月下旬 各社と随意契約（工期90日間）  
秋頃 概略設計業務完了

# 押え盛土+鋼管杭工法

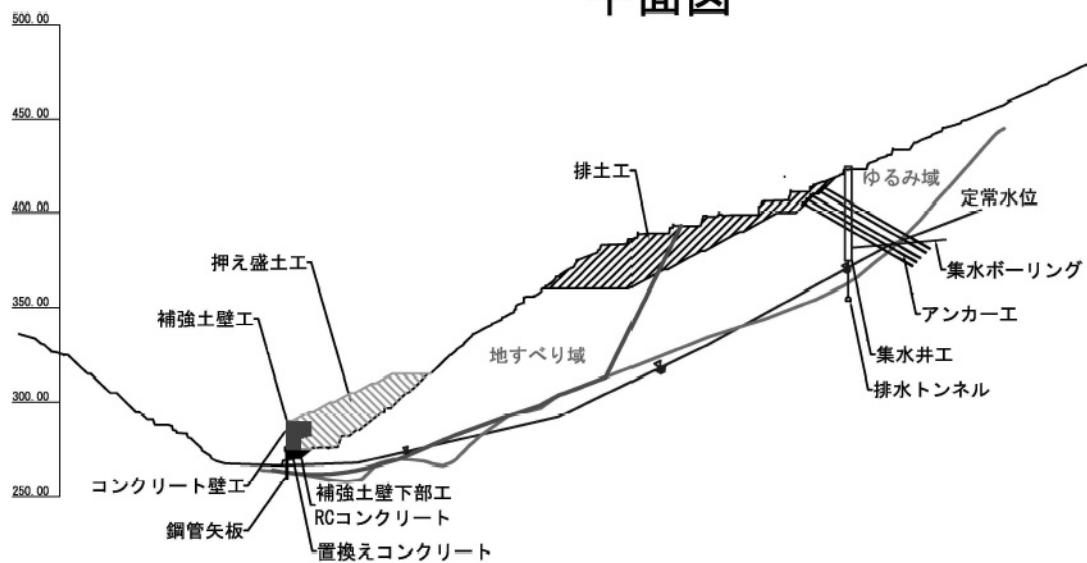


標準断面図

## 押え盛土+排土工法



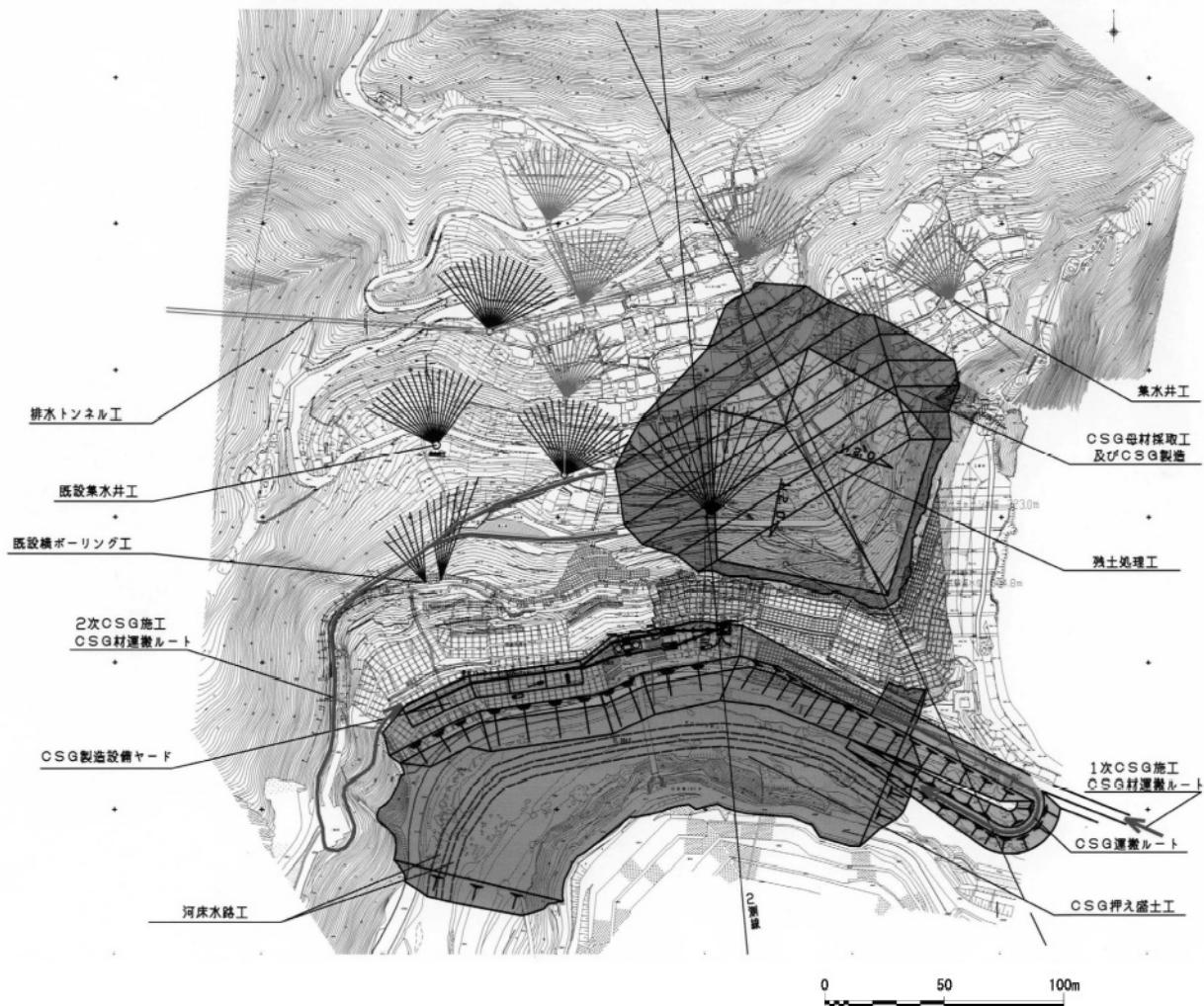
平面図



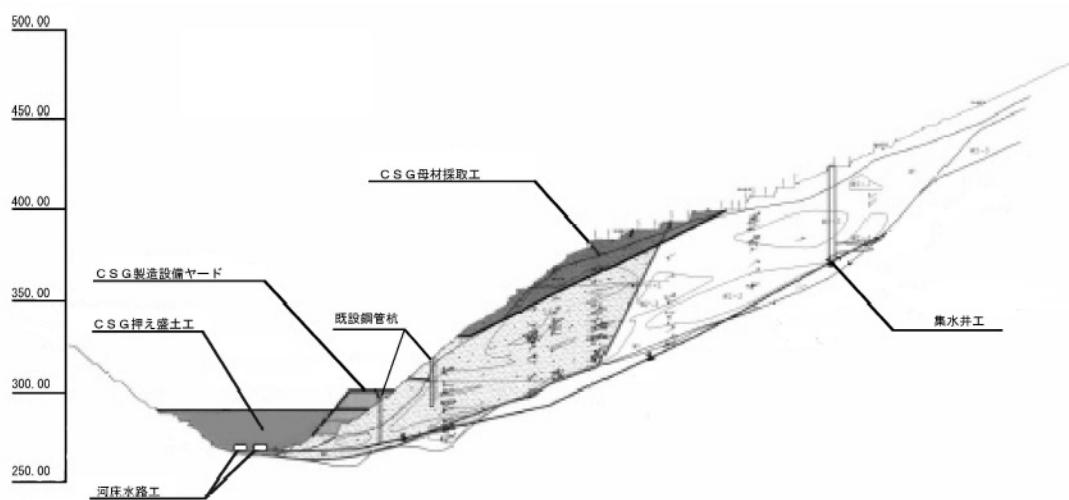
標準断面図

番号 3

## CSG押え盛土工法



平面図



標準断面図